湧別町
生涯学習
情報

WAKU WAKU
湧く湧く

2018年
8月
No.104

成人は町の大黒柱　すすんで地域に関わろう　～成人教育推進目標～

第42回湧別町民大学が開講されます

毎年各界の専門家を招いてお話をうかがう「町民大学」。今年は、９月12日(水)から第１回目の講演が始まります。１回目の講師は元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチで、現在は道内のテレビやラジオでもご活躍中の白井一幸氏をお迎えします。チームコーチングについてはもちろんのこと、ファイターズ選手の話題を交えながら、地元ファンが楽しく野球を観戦するための見どころなど、野球の魅力についてお話いただきます。

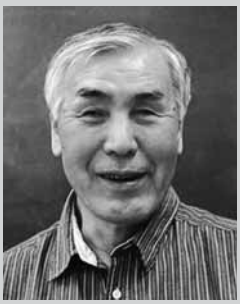
この後にもフジテレビ「ホンマでっか!?TV」などの出演を機に、脳科学という専門分野をわかりやすく身近にしてくれた、澤口俊之氏を始め、以下の講師陣をお迎えします。皆さんの暮らしに役立つ知識や新たな気づきに結びつくようなお話をうかがいます。ご夫婦で、親子で、お友だち同士で、ぜひお越しください。

【会　場】　湧別町文化センター TOM
【時　間】　各回とも午後７時開講（開場は30分前）
【対　象】　一般（町外の方も受講できます）
※小中学生も聴講できますが、成人の同伴が必要です。
【料　金】　受講料　全５回　1,000円
１講座のみは　500円
※小中学校PTA会員、高校生以下は無料
【お問い合わせ】町民大学実行委員会事務局
（社会教育課内　℡５－3132）

第１回　９月12日（水）
白井　一幸（しらい　かずゆき）氏
「北海道日本ハムファイターズ流
～チームコーチングとファンの力」

第２回
９月27日（木）
人間性脳科学研究所 所長
澤口　俊之(さわぐち としゆき)氏
演題　「夢をかなえる脳」

第３回
10月９日（火）
㈱日本総合研究所 主席研究員
藻谷　浩介(もたに こうすけ)氏
演題　「湧別町で見つけた未来の種」
©青木優佳氏



第４回
10月25日（木）
ヒカリカナタ基金代表／社会福祉法人岡山ライトハウス理事長
竹内　昌彦（たけうち まさひこ）氏
演題　「見えないから見えたもの
～生きる意味、命の尊さ、感謝の思いを語る～」

第５回
11月13日（火）
札幌医科大学医学部
細胞生理学講座 教授
當瀬　規嗣(とうせ のりつぐ)氏
演題　「生きるしくみ
～食べることの意味～」
※毎週水曜、道新くらし面にコラム連載中。

※第１回～第５回とも会場、開講時間、料金は同一となっています。

芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう ～芸術・文化活動の推進目標～

開催間近！　ミッフィーの音楽会

© Mercis bv　企画制作：MOON WALK Co.

「ミッフィーの音楽会」の開催が２週間後と迫ってまいりました。

ミッフィーの原作者であるディック・ブルーナの絵本は世界中のこども達に読み親しまれ、8,500万部以上のロングセラーとなっています。シンプルなデザインとブルーナカラーと呼ばれる６色の色使いは、こども達の創造力を膨らませます。

「ミッフィーの音楽会」は有名なクラシック曲やたくさんのこども達に親しまれている曲を生演奏でお楽しみいただけます。０歳から参加できる催しですのでご家族そろってたのしい時間をお過ごしいただける事間違いありません。まだチケットをご購入されていない方につきましてもどうぞご検討いただき、会場でお会いできることを楽しみにしています。

【日　時】　平成30年９月９日（日）
１回目開演11時　第１部（約35分）　休憩（15分）　第２部（約35分）
２回目開演14時　第１部（約35分）　休憩（15分）　第２部（約35分）
（開場は共に30分前）
※託児所は設けておりません。ご一緒にお楽しみください。

【会　場】　文化センター TOM（℡２－2188）

【出演者】　ミッフィー、メラニー、ボリス、バーバラ、さる、お姉さん
演奏：ミッフィーハーモニー楽団

【主　催】　良いもの見よう聞こう会（湧別町芸術文化奨励事業）

【後　援】　湧別町教育委員会

【料　金】　全席自由席　一　　般　1,000円（当日券500円増）
中学生以下　500円（当日券300円増）
鑑賞会員　　800円
※お子様ひざ上の場合無料（但し、お席が必要な場合は有料）

【プレイガイド】　文化センター TOM・さざ波、役場上湧別庁舎、イワイ、荻原商店、チューリップの湯ほかで好評発売中！

【お問い合わせ】　事務局（社会教育課文化振興係　℡５－3132）

【演奏予定曲】

●おもちゃのシンフォニー	●アイアイ
●ワルツィング・キャット	●かわいいミッフィー
●ドレミの歌	●ラデッキー行進曲
●きらきら星変奏曲	●ミッフィーとおともだち
●ハンガリー舞曲	●タイコダンス
●トルコ行進曲	※出演者・楽器・曲目は変更になる場合があります。

★教育委員会委員に喜多友美さんを任命★

前加茂一郎委員の退任に伴い湧別町教育委員会委員に喜多友美さん（写真）を任命しました。委員の任期は、前委員の残任期間である平成30年11月30日までとなります。

現在の教育委員会は、次のとおりです。

【敬称略】

職名	氏名	住所	職業	任期年月日
教育長	阿部 勉	栄町	―	平成32年３月20日
教育長職務代理者	岩佐雅弘	緑町	神官	平成32年11月30日
教育委員	井上久恵	上湧別屯田市街地	自営業	平成31年11月30日
教育委員	森谷和洋	中湧別東町	会社役員	平成33年11月30日
教育委員	喜多友美	芭露	看護師	平成30年11月30日

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう　～少年教育推進目標～

交流の輪が広がる！　～新篠津村との友好都市交流事業～

８月１日～３日までの日程で、「湧別町・新篠津村友好都市交流事業」が行われ、湧別町からは、小学生５、６年生13名、中高生リーダー４名と新篠津村からは小学生７名、高校生リーダー３名が参加して行われました。

この交流事業は、平成15年度に友好都市提携を結んだ新篠津村との歴史的つながりを次代を担う子供たちに少しでも認識してもらうことを目的として平成17年度からお互いの町を隔年で訪れています。

滞在中は、湧別町と新篠津村との関わりについて新篠津村長から学び、カヌーやロボート体験、ミニトマトの収穫体験や花火など盛りだくさんの内容で充実した３日間となり、お別れの会では、全員とハイタッチして湧別町へと帰りました。

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

“夏は『キャンプ』だ!チャレスポだ!”

７月27日から１泊２日の日程で、チャレンジスポーツスクールのキャンプが湧別屋内ゲートボール場「すぱーく湧別」で実施され、34名の子どもたちが参加しました。

レクリエーションのサッカーで汗を流した後、みんなで協力しながら夕食の準備をして、ジンギスカンをお腹いっぱい食べました。

夜には、スイカ割りや花火を楽しみ、最後は、みんななかよくテントでぐっすり眠っていました。

スポーツ振興くじ(toto・BIG)助成金で柔道用畳を整備しました

独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成30年度スポーツ振興くじ助成金地方公共団体スポーツ活動助成を受け柔道畳を整備しました。

柔道や合気道の合宿、柔道大会などで活用されるなど、地域住民のスポーツ活動の充実および地域のスポーツ振興に寄与します。

スポーツくじ toto BIG

私たちはスポーツ振興くじ
助成を受けています。

りレーエッセイ「社会教育委員さんのある一日」第95回

第33回サロマ湖100㎞ウルトラマラソンに給水ボランティアで参加しました。既にアップを始めているランナー達やスタート地点に向かうバスや乗用車で賑わっており、普段の朝４時台とは全く違う雰囲気が町内に漂っていました。給水の準備をしている時、そこはいつも通りの牧草地帯でした。スタート時間の５時を少し過ぎた頃、パトカーの先導で走るカラフルなランナー達が遠くに見えました。朝日と緑の中で華やかでしたが、まだ、その時点でも給水ポイントは静かなままでした。軽やかに走る先頭集団が通り過ぎた頃から、紙コップの飲料をいくら急いで用意しても足りないくらい忙しくなり、賑やかになり、皆あたふたと作業をしていました。疲れを感じた頃に最終ランナーが通過し、あっという間に静寂な牧草地帯が戻ってきました。

100キロを制覇しようと頑張っている人達と間近で接し、応援するのと同時にやる気パワーを分けてもらう貴重な体験ができました。自分で走ることは出来ませんが、こういう形で町のイベントに今後も携わっていきたいと思います。

社会教育委員　木幡　かおる

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう ～図書館活動推進目標～

「図書館体験ツアー」を実施しました!

図書館から離れた子どもたちにも気軽に図書館を体験してほしい……そんな思いから図書館では、図書館から離れた学校に通う児童を対象に「図書館体験ツアー」を実施、７月7日には開盛小学校の児童３名が、７月21日には富美小学校の児童２名が参加してくれました。

どちらの日も、児童の皆さんにはそれぞれの学校に集合してもらい、学校から図書館まで送迎、図書館に到着してからは館内を見学してもらいました。その後の自由時間では、DVDを見たり、沢山の本の中から好きな本を選んだりと、90分の自由時間もあっという間に過ぎた様子でした。

今後も離れた地域の児童に向けて、さまざまな形で本に、図書館にふれる機会を提供していきたいと思います。

古本市が行われました

７月29日に、湧別図書館で「古本市」を行いました。約2,000冊の本と雑誌を湧別高校のボランティア部のみなさんと一般ボランティアの方が、準備から当日の受付業務にご協力いただき、今回も午前10時の開館前から長蛇の列ができるほど、町内外の方で賑わいました。毎年楽しみにしている方は「頂けるのがうれしい。いろいろな本があって楽しい」と話していました。

図書館が「おばけ屋敷」に!?

８月２日～７日まで、湧別図書館の多目的室が「おばけ屋敷」になりました。いつもは、映画会などで使用している多目的室ですが、職員手作りのおばけグッズで室内を飾り付け、壁には怪談映画の映像を映すなどして雰囲気作りを行いました。妖怪えほんの展示や読み聞かせに来館者は真夏のひとときをクールに過ごしました。

化石シリーズ
ナウマンゾウの化石 その1

湧別のナウマンゾウ

博物館だより
ーふるさと館JRY・郷土館ー
【第104号】

郷土館を代表する資料に「ナウマンゾウ臼歯」の化石があります。ナウマンゾウの化石は本州の野尻湖(長野県)を中心に国内約300か所で見つかっていますが、北海道では４か所でしか発見されていない珍しいものです。湧別のナウマンゾウ化石からどんなことがわかるのか、ご紹介します。

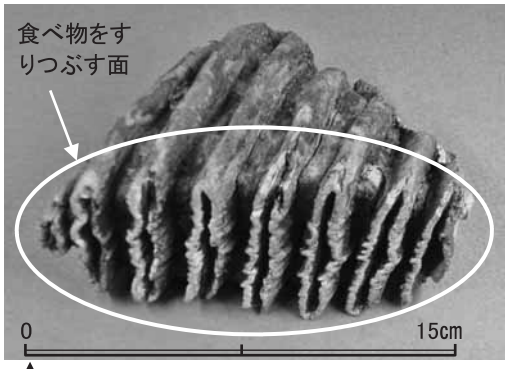
化石は古生物学

ナウマンゾウ化石の話を進める前に、化石に関する基礎知識を一つご紹介します。それは、化石を研究する学問は「古生物学」だということです。「考古学」と混同されますが、全く異なる学問分野です。古生物学が研究対象とする化石も、考古学が研究対象とする土器も、地中から発掘されるため混同されると思われます。しかし、明確に異なる学問です。学問分野が異なれば「何を明らかにしようとしているのか」も異なります（表１）。もし、お子さん等が「化石（恐竜など）の研究者になりたい！」と言っている場合は、理学部等の進路を選択するようアドバイスすることが必要です。考古学を学ぶ学部に進学すると恐竜の研究はできません。もっとも、湧別という地域の昔を知るためには、どちらの学問も重要なことに変わりはありません。

研究対象	学問	研究目的（解き明かすもの）	受験の進路	小学校で習う科目
化石	古生物学	地球や生物の歴史	理学部等	理科
土器・石器	考古学	人類の文化や歴史	文学部等	社会科

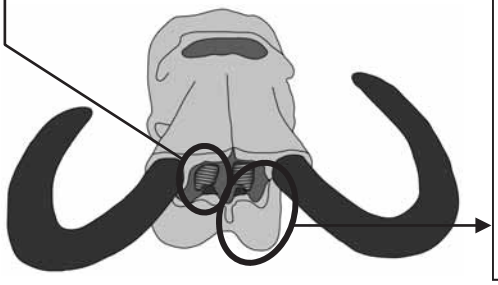
表１　古生物学と考古学の違い

湧別ナウマンゾウの歯

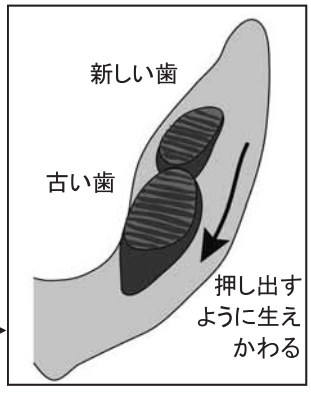


郷土館に展示中のナウマンゾウ化石

湧別ナウマンゾウの化石は平成10年に東芭露の山林で発見され、平成15年に湧別町に寄贈されました。見つかった化石は歯の部分で、右上の歯（右上顎第２大臼歯）と考えられます。ゾウ類（昔も今も）の歯は、上に２本、下に２本の計４本しかありません。ただし１本がとても大きく、長さが約15㎝にもなります（左写真）。食事の際は上下の歯で餌をすりつぶして食べるため、生え始めの歯は上面が洗濯板のようにデコボコになっています。すり減って平らになる頃、奥歯が前歯を押し出すようにして生え換わります（右下図）。歯は一生のうちに６回も生えかわるようになっています。



ナウマンゾウ頭部骨格のイラスト



歯の交換イメージ（下の歯）

化石は発見当時、マンモスゾウの歯だと考えられていました。年代測定の結果が約３万年前という、寒冷な気候の時期だったことも理由の一つです。しかしその後、専門家による再調査の結果、ナウマンゾウのものだと判明しました。それまで北海道で発見されていたナウマンゾウは約12万年前のものばかりだったので、３万年前の化石が見つかったことは北海道の自然環境を知る上で大きな発見となりました。

【参考文献】『北海道開拓記念館　第65回特別展「北海道象化石展!」』2009年

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」 2018年8月号 No.104

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課　〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町219-1
http://www.town.yubetsu.lg.jp/st/70kyouiku/index.html
印　　刷…㈲中湧別印刷（湧別町中湧別南町）　　平成30年8月24日発行
記事へのお問い合わせは
＊社会教育課（社会教育係/スポーツ振興係/文化振興係）…01586-5-3132
＊湧別町図書館　湧別図書館…01586-5-3122　中湧別図書館…01586-2-3150
＊ふるさと館JRY…01586-2-3000